



樹妙だより

No.203 2023/6.7



1年生宿泊オリエンテーションの様子（2023年4月20～21日）

慈悲喜捨

日本には、夏が来る前に梅雨の季節があります。昔は、湿気や蒸し暑さで心身が重かったような記憶がありますが、最近は空調設備のおかげでそれほど苦にならなくなりました。しかし、そのような季節にも、美しいと感じる花があります。

例えば、紫陽花(あじさい)の色は、太陽よりも雨雲に映えるようで、花のグラデーションに梅雨の風情を感じます。紫陽花は、酸性の土では青色に、アルカリ性では赤色に変化します。日本は火山地帯で雨が多く、土壌が弱酸性なので青色の花が多くなり、欧州はアルカリ性の土壌なので赤色が多くなります。しかし、鮮やかな青紫色の紫陽花を見ると、日本ならではの美しさがあるように思います。

紫陽花は、花びらのように見えるのが萼(がく)の部分で、花は中心部に小さく咲きます。花がてまり状に咲くのは「西洋紫陽花」で、日本の「萼紫陽花(がくあじさい)」は、額縁(がくぶち)のように周囲に咲きます。紫陽花は、もともとは日本固有の植物ですが、オラン

ダ人のシーボルトが、「おたくさ」という学名を付けて海外に紹介したことから品種改良が行われ、西洋紫陽花が生まれたということです。

紫陽花の語源は、藍色が集まったという意味の「集真藍：あづさい」が、後に「あじさい」に変化したようで、白居易(はくきょい：中国の詩人)の漢詩から、「紫陽花」という字が当てられるようになったと言われています。日本では、鎌倉の「明月院」があじさい寺として有名ですが、その他にも紫陽花の名所はたくさんあって、6月は各地で紫陽花祭りが開催されます。

雨に美しく咲く花には、花菖蒲(はなしょうぶ)、あやめ、かきつばたなどもあります。どの花も、見る人によって様々に映りますが、本校の樹妙に「雨の日も雨の風情」という言葉があるように、しっとりと雨に濡れる花に心を動かされるのは、日本人特有の美意識なのかもしれません。

梅雨ならではの風情を大切にしましょう。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長
野口秀樹

新年度がスタートして2ヶ月が経過しました。新入生も、在校生もそれぞれ目標に向かって力強く歩み始めました。

これを応援するかのように、新緑がまばゆいばかり輝いております。

お預かりしている生徒たちとこの輝く若葉が、私にはどうしても同様に感じてなりません。伸びゆく若い力、素晴らしいですね。

やっと新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行しました。今後の展開がどうなるかわかりませんが、「待ってました」の気分です。

これで、予定されている生徒が喜ぶ学校行事を、はばかることなく実施できそうです。コロナの3年間はやはり長うございました。

先日、樹徳の感謝祭である緑蔭祭も無事に終了することができました。創立者や109年の歴史をつくり上げたそれぞれの関係者、そして生徒のご先祖様を丁寧にご供養できました。先人達への感謝は今を生きる私たちを豊かにしてくれます。

卒業生が後輩達を支援応援する組織、同窓会樹妙会の総会も対面で行われました。その後、4年ぶりの懇親会、楽しそうな顔、顔、顔。有意義な時間でありました。

また、5月に行われました群馬県高校総体では、生徒たちの頑張りが見事でありました。点数化された各種目の総合成績が男子3位、女子が15位、いつの間にか文武両道の校風に生徒たちがどんどん染まっていくようです。ここでも生徒たちが主人公です。

私が影響を受けた教育者は何人かおりますが、その中の一人に、東井義雄（1912～1991年）先生がおります。兵庫県の浄土真宗の寺に生まれ、ご苦労されて小学校の先生になります。生徒たちを愛し生徒たちのために尽くした、教師の鏡のような方なのです。

この方が「自分は自分の主人公 自分を立派にしていく責任者」を一貫して言い続けておられるのです。

こんなにわかりやすくて、背筋をスッと

伸ばしてしまいたくなる言葉はありません。

先生は小学生から大人までいろいろなバージョンで「自分は自分の主人公」を表現しております。

「自分は自分の主人公」

世界でただひとりの自分を創っていく
責任者

自分をのりこえては
もっと大きい自分を創っていく
もっと豊かな自分を創っていく
もっと強い自分を創っていく
もっと確かな自分を創っていく
もっと深い自分を創っていく
自分を創るのは自分以外ないのだから

仏教の座禅をくむ禅宗にも「主人公」を取り扱った面白い話があります。

座禅の修行者に考える対象や手がかりにさせるために示す、開祖や偉い修行僧の言葉や行動を示した公案の中の、「瑞巖主人公（ずいがんしゅじんこう）」という話です。

瑞巖和尚という方は、座禅をしながら、毎日自分自身に向かって「主人公、おい主人公」と呼びかけるのです。そして自分で「ハイ」と返事をする。今度は「はっきりと目を醒ましているか」と言っでは、こちらにも「ハイ」と答える。「これから先も人に騙されなるな」と言っでは「ハイ、ハイ」と答える、毎日このようなひとり言をいって修行をされるのでありました。

「主人公」とは、物語の主役、中心人物という意味で日常的に使われていますが、禅語でいう「主人公」は、物語の主役という意味ではなく、「本来の自己」のことを指しているのです。

私たちは、本当の自分というものをとなく見失いがちです。とくに今日、私たちをとりまく環境からくる刺激はたいへんなもので、外のものに目を奪われている間に、自己を喪失しやすくなっています。

私なども忙しさに紛れて、大事な自分を見失ってしまうようなこともございます。この年になってもですので、生徒たちには主人公の両面、自分の人生の主役、そして本当の自分の追求を大事にして毎日務めてくれることを期待致しております。

合掌

令和5年度

学校教育方針

1 本校の教育目標

- (1) 「共生（ともいき）」という仏教の教えを基にして、自他を尊重し、多様性を認めるとともに、生かされていることに感謝し、自ら進んで社会に貢献しようとする豊かな心（慈悲心）を涵養する。
- (2) 社会や生活における課題を自分のこととして引きつけて捉えるとともに、自分の人生を自分の力で切り拓いていく、智慧のある「自主独立」の人材を育成する。
- (3) 希望する進路目標を実現できる確かな学力を獲得するとともに、将来の様々な課題にも対応できる人間力と健やかな身体を養成する。

＊確かな学力とは、

- ①生きて働く「知識・技能」
- ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
- ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」



2 生徒に身につけさせたい力

- (1) 感謝する心、奉仕の精神
- (2) 主体性、挑戦する力
- (3) 確かな学力

3 重点運営事項

- (1) 本校の特色化・魅力づくりの推進
 - ①特色ある教育課程の編成及びキャリアデザイン系列における学習内容の作成
 - ②「総合的な探究の時間」の指導に係る研究及び実践
 - ③「互観授業」の継続的な取組をととした授業指導力の向上
 - ④強化指定部の実績向上及び一般部活動の加入促進
 - ⑤生徒会を中心とする生徒の主体的な活動の充実
 - ⑥ICT教育に係る教員の資質・能力の向上及び生徒の情報活用能力の育成
 - (2) 高校入試改革の推進
 - ①生徒募集のキーワードを「探究学習」と「部活動」とする。
 - ②推薦入試（単願）に力点を置いた高校入試改革を行う。
 - ③試験機会は1回とし、シンプルでわかりやすい入試制度にする。
- (1)(2)の取組をととして、本校の魅力を高めるとともに、単願者の増加を目指す。
- (3) 「働き方改革」の推進
 - 1年単位の変形労働時間制を導入する等の「働き方改革」に積極的に関わり、職員の適切なライフ・ワーク・バランスを図る。生徒の活動と休養のバランスにも留意する。

少林寺拳法で学んだこと

私は、今年度より本校に奉職した。教科は数学。部活動は、少林寺拳法部の顧問を受け持つこととなった。

私が少林寺拳法と出会ったのは、生徒諸君と同じ、高校生のときであった。私の出身は埼玉県である。高校は公立の高校に通った。入学者説明会に参加し、体育館で色々と面倒な手続きや難しい話が終わった後、体育館の後方で、各顧問の先生が入学前部活動体験の勧誘を行っていた。人気があるのは、サッカー部や野球部などのメジャーな部活であった。そんな中に、「少林寺拳法部体験いかがですか」と、「おじさん」と呼ぶにいかにもな方がいた。私は元々、中学校ではサッカー部に所属しており、「高校でもサッカー部に入部するかな？」などと考えていたが、「少林寺拳法」という、見たことも、聞いたこともないものに興味を惹かれ、冷やかし半分で道場へ見学に行ってみた。先生に連れられて道場に入ってみると、そこでは先輩方が相当な気合の入り様で、真剣に「突き」「蹴り」などの稽古に励んでいた。先生はここで「まだ勧誘があるから」と、私一人道場において出て行ってしまった。「おいてけぼりかよ…」不安になった記憶がある。どうしていいかわからず、道場の入り口でもじもじとしていると、一人の先輩が「見学かい？どうぞ近くで見てくれ」と声を掛けてくれた。私は入学早々ひとりぼっちになってしまい、さみしい気持ちを味わったのだが、このように声を掛けてもらえたことにとても安堵したことを覚えている。三学年の先輩2人が長椅子の横につき、少林寺拳法についてあれこれと説明をしてくれた。突きや蹴りがあったり、投げたり固めたり、と、その時の私には全くピンとこなかった。すると先輩方は「演武見ていきますか？」と言ってくれた。私は「はて、演武とは…？」といった風であったが、興味本位で、「是非、お願いします。」と頼んでみた。両隣に座っていた先輩方が立ち上がり、道場の中心で向かい合った。それから合唱礼をした後、演武が始まった。そのときの衝撃は、今でも鮮明に思い出せるほどのものであった。先ほどまで和やかに説明をしてくれた二人の先輩方は、まるで別人のような雰囲気で、その表情や体捌きは気迫に満ち満ちていた。全力で顔を殴りにいき、それを全力で捌く姿は、先ほどのギャップの大きさもあり、陳腐な表現だがとても「カッコよく」感じた。演武を終えると、先輩方は「どうだった？」と、また先ほどの和やかな様子に戻り、優しく話を続けてくれた。私は、この時の真剣さ、カッコよさにすっかり引き込まれ、入学式前であったが入部を決意した。

高校三年間、少林寺拳法を続けてその魅力に惹

かれ、大学進学後も、当然のように部活動に所属した。大学での少林寺拳法部は“体育会”という扱いで、練習メニューは高校時と比較しても非常に辛い、キツイものであり、正直「散々」であった。「もう嫌だ。やめたい。」と同期と話しながらも「やっぱり頑張ろうぜ」とお互いを鼓舞しながら続けたのだった。全てがキツく、怒られてばかりであった中でも、何よりもメンタルに來たのが、全日本学生大会前のセレクションであった。高校では、エントリーすれば各校何人でも出場できる競技が多いのだが、大学では各校部門ごとに1組のみ、などの制約があり、部内で同一部門での出場を希望する選手同士の部内戦が行われる。私は大学1・2年生のとき、先輩後輩にセレクションで敗れ、丸二年間、大会に出場できなかった。悔しくて悔しくて、「大会に出られないのであれば部活などやめようか」と考えたこともあった。しかし、そんなとき、周りの支えや励ましによって持ち直し、「もう少し、あともうちょっと頑張ってみるか」と、続けることにした。ずっと「頑張ろう」と思い続けることは、本当に難しいことだと思う。目の前の、ちょっとした目標をまずは達成してみようと思うことが大切なのだと、身をもって感じた経験であった。そんなこんなで大学3年生の時、初めて全日本出場の機会があり、男子二段の部で2位をとることができた。この時は本当に、自分自身の力のみならず、周りの人たちの支えがあったからこそだと思うし、何よりも、腐らず継続した結果だと思う。

生徒の皆さんも、受験や、これからの進路のことで悩み、投げ出したくなることもあるかもしれない。だが、「ぐっと堪え、もうちょっと頑張る」を実践してみたい。

高校から少林寺拳法を始め、大学でも少林寺拳法を続け、現在、社会人になっても、この武道に携わっている。たまたま見に行ったというきっかけが、今につながっている。人生、何が起こるかわからないものだな、とつくづく思う。生徒のみなさんが、この樹徳高校で出会った人々、経験に感化されて、人生が豊かになっていくことを願っている。そして、私自身も、これからの経験に大きな感化を受けることだろうと思う。今後の教師生活で、多くの生徒たちとの出会いを大切に、自身も大きく成長したいと思っている。

そして部員の諸君、人間、真剣にやっている瞬間が一番カッコいいのだ。一年生に「こうなりたい」と思ってもらえるよう、2・3年生には関東大会を頑張ってもらいたい。

数学科 藤井 健太

一貫校中学校だより

表現力の大切さ

樹徳中学校の令和5年度が始まり2ヶ月が過ぎようとしています。今年度は45人の新入生が入学しました。どの生徒さんも学校生活に慣れた様子で、日々の授業や部活動に一生懸命な姿を見ることができます。

さて、今回は「表現力」の重要性について述べたいと思います。新型コロナウイルスという、今まで私たちが経験したことのない「想定外」の危機に直面したことで、普段の学校生活でも、「想定内」の学びから、「想定外」の学び、すなわちICT機器を授業で常時使用し、ソーシャルディスタンスを保った学校生活を経験しました。そこで重要となるのは、これから10年、20年先の社会を生き抜く子供たちには、「想定外」を生き抜く力が必要だということです。そこで必要な力とは、例えば「自分の考えをしっかりと持つ力」であったり、「自分を表現する力」などです。

「自分の考えをしっかりと持つ力」は、そのまま「自分を表現する力」につながります。「表現力」というと、大学入試の面接や、社会に出てスピー

チやプレゼンテーションで必要だからだと思いがちです。しかし、学校や社会で良い評価を受けるために必要な「表現力」では、「評価されることを目的とした表現力」が身につくだけになってしまいがちです。これでは、自分が評価されない場では、自分から進んで表現しようとは思わなくなってしまいます。重要なのは、自分の考えを表現する力を身につけることであり、その目的は、将来に向けてなりたい自分になるために、自分に自信を持ち、自分を他人と同様に大切にして、社会に出たときに必要とされ、活躍するためであり、自分が主体的に社会をつくる一人として生きていくためであります。そのためには、自分がどんな時でも、どんな相手でも、自分の方から自分らしく自分の言葉で話せるように、中学の時から心がけて行動することが大切です。樹徳一貫校の生徒さんには、自分の目標に向かい、主体的に取り組み、表現力を培う姿勢を大切にして欲しい。私たち教職員も、一人ひとりの生徒たちの夢の実現に向け、引き続き精一杯のバックアップをしていきたいと思っています。

教頭 薊 法明

◆入学式・入学生歓迎会

4月8日(土)、講堂にて23期生、45名の入学式がおこなわれました。

真新しい制服に身を包み、凜とした表情で真剣に式に参加しました。

また4月13日(木)には入学生歓迎会が開かれました。3年生を中心に各学年・各部活が工夫を凝らし、行事や部活動の紹介をおこないました。

◆宿泊オリエンテーション

5月10日、11日に桐生市青少年野外活動センターにて、中学1年生が3年ぶりに宿泊オリエンテーションを実施しました。

山登りや班での飯盒炊飯、ペーパーチャレンジなどの活動を通して、学年の絆をより一層深めることができました。



幼稚園だより

入園・進級してから早2か月が経ちます。すっかり幼稚園生活に慣れた子どもたちは、笑顔が増え、教室や園庭にはにぎやかな声が響き渡るようになってきました。日に日に暑さが増してくるこの時期には、休み時間から戻ってくる園児の顔は汗びっしょりです。「楽しかったなあ」「もっと遊びたかったのに～」と、遊ぶ時間がやや短いのに不満を漏らしながらも、充実感いっぱいの顔を見ることができます。6月は、プールやじゃがいも掘り、春の遠足など、楽しい行事が続きます。梅雨に入り天候に左右される時期もありますが、元気いっぱいに過ごしていきたいと思います。

◆こども政策の司令塔 「こども家庭庁」がスタート

こども政策の推進にあたり、司令塔の役割として、4月1日より「こども家庭庁」がスタートしました。この度のこども政策、こども家庭庁などには、「こども」が敢えてひらがなで表記されています。当事者である子どもたちにも分かりやすくするということからだそうです。

現在は、少子化や児童虐待、不登校など、子どもや家庭が抱える様々な課題が山積みです。それを解決するためには、複数の省庁にまたがったの管理や政策作りをしていくのではなく、司令塔の役割が必要です。そこで、こども家庭庁を創設して1本化を図ることになったわけです。ただし、子どもにとって必要な教育は、現行と同じく文部科学省の下で充実が図られることになりました。したがって、本園は、こども家庭庁と文部科学省の両方が管轄となっています。

こども家庭庁は、大人中心になっていたこの国や社会の形を「こどもまんなか」へと変えていく司令塔としての新しい組織です。そこで、こどもに関わる政策を進めるときに大事にする基本理念として、次の六つが掲げられています。①こどもや、子育てをしている人の目線に立った政策を作ること。②すべてのこどもが心も身体も健康に育ち、幸



園外保育「吾妻公園チューリップ祭り」

せになること。③誰一人取り残さないこと。④政府の仕組みや組織、こどもの年齢によって、こどもや家庭への支援がとぎれないようにすること。⑤こどもや家庭が自分から動かなくても、必要な支援が届くようにすること。⑥こどもに関する調査・データを集め、それをしっかり政策にいかすこと。未来を担う存在である子どもが大切にされる世の中はとても素晴らしいことです。これから、こども家庭庁と文部科学省への期待がますます高まっていくことでしょう。

◆仏教行事を通して、豊かな心や礼儀を育む

5月12日（金）に、1か月遅れとなってしまいましたが、大善寺様の「花祭り」に招かれ、年少・年中・年長組の子どもたちと出かけて来ました。

子どもたちは、理事長先生から「花祭り」について、お釈迦様が誕生したことを祝うお祭りだというお話を伺い、緊張しながらも真剣に耳を傾けていました。その後、「花祭りの歌」を歌ったり、紙芝居「王子様の誕生」を先生方が発表したのを見たり、全員が二人一組で誕生仏に甘茶をかけたりして、お釈迦様の誕生日をお祝いしました。

このように、幼稚園では仏教行事（花祭り・成道会・涅槃会）を通して、子どもたちに感謝の心や思いやりの心、しっかりとした礼儀を育んでいきます。

園長 佐野 悦生



「第71回入園式」

～年長の子どもたちよりお祝いの言葉



大善寺にて「花祭り」

入園児募集中

- ◎2歳・満3歳・3歳児の入園をお待ちしています。
- ◎募集人員 2歳児 10名、満3歳児 10名、3歳児 10名
- ◎入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。
- ◎お問い合わせは、樹徳幼稚園 佐野まで。 ☎0277-53-5571

桐生市広沢町三丁目4475番地

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder>

6月(正語)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	木	更衣 校内安全点検 歯科検診③ 3年生ベネッセ大学入学共通テスト模試		安全点検日 体育・文字(年中)
2	金	前期教育実習オリエンテーション		不審者対応避難訓練
3	土	英語検定①一次		開園日(預かり保育)
4	日			
5	月	前期教育実習開始 授業料・校外学習代金納入日		教育実習生(育英大学・育英短大)受け入れ リズム
6	火	マイトリー基金抛金日		読み聞かせ
7	水	探究・LHR 3年生進路ガイダンス 県校長会		英語・文字(年長)
8	木	歯科検診④ 校内研修(いじめ防止②)		体育・文字(年中)
9	金	漢字検定① 私学教員適性検査委員会(共愛) 県高P連総会 浄土宗立宗門校教育振興会理事会(～10日)		保育料納入日 保護者会教養講座「人形劇」
10	土			開園日(預かり保育)
11	日			
12	月	朝礼 教科主任会③ 3年J組三者面談(～16日)		リズム
13	火	私学振興会理事会・評議員会	中学授業参観	プール開き
14	水	探究・LHR(出前講座)	中学校内弁論大会	お茶のお稽古②(年長) 英語
15	木	マナーアップ運動① 検尿予備日		体育・文字(年中)
16	金	書写技能検定① 関東高P連総会(宇都宮)		じゃがいも掘り(全学年)
17	土		オープンキャンパス 1年親子茶道教室 後援会懇親会	開園日(預かり保育)
18	日			
19	月			リズム
20	火	七都県高校進学問題協議会		ボール投げ教室②(年中・年長) 読み聞かせ
21	水	歯科検診⑤ 日私中高連常任理事会	4年農場実習	英語・文字(年長)
22	木	探究・LHR(出前講座) 中学校長会進路指導部との連絡協議会(生涯学習センター) 北関東初任者研修(水戸)(～23日)	歯科講演会	開園記念日のため休園
23	金	樹の根の会総会		園外保育(春の遠足)
24	土			開園日(預かり保育)
25	日			
26	月	教科主任会③		リズム
27	火	期末試験(～30日)	高校期末試験(～30日)	すみれ組保育参観
28	水		中学期末試験(～30日)	もも組保育参観 英語・文字(年長)
29	木			さくら組保育参観 体育・文字(年中)
30	金	出欠統計提出 関東地区私学保護者連合会理事会(さいたま) 制服アフターサービス オーバーコート採寸(1年生)		たけ組保育参観



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」

6月、7月の予定はありません。

7月(正業)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	土	1, 2年ベネッセ学力テスト 3年ベネッセ記述模試		開園日(預かり保育)
2	日	英語検定①二次 私学教員適性検査(共愛)		
3	月	朝礼 求人受付開始 校内安全点検 マイトリー基金抛金日 離任地・夏休み行事計画提出 学年主任会④ 教科書採択		安全点検日 保護者会幼交連「交通安全教室」
4	火	県校長会		
5	水	探究・LHR(野球部・インターハイ壮行会) 募集要項説明(本校教員) 授業料・第1回諸費納入日		英語・文字(年長)
6	木		中学保護者会	体育・文字(年中)
7	金	中高協会定例会(ラシーネ) 健康診断予備日(桐工) 関東高P連栃木大会	中学ITトラブル防止教室	七夕祭り
8	土	高校野球夏季大会開幕 数学検定① 関東高P連栃木大会		開園日(預かり保育)
9	日	海外科学研修(~17日)		
10	月	運営委員会②		保育料納入日 リズム
11	火	生徒募集要項説明会(中学校教員対象)	中学校内球技大会	ボール投げ教室③(年中・年長) 読み聞かせ
12	水	探究・LHR 募集要項説明会(学習塾対象) 日私中高連常任理事会	高校薬物乱用防止講演会 イブニングスクール(~14日)	英語・文字(年長)
13	木	日本私学保護者連合会総会・研修会(姫路市)		体育・文字(年中)
14	金	担任宛成績提出 薬物乱用防止講演会(5・6時限) 一学期出欠締切 日本私学保護者連合会総会・研修会(姫路市)		お誕生会(6・7月生まれ)
15	土			開園日(預かり保育)
16	日			
17	月	海の日		
18	火	一学期出欠統計提出 教務宛成績提出 制服アフターサービス		読み聞かせ
19	水	視聴覚教室 2年生進路ガイダンス		1学期終業式
20	木	成績会議 オープンスクール打合せ	中学英語スピーチコンテスト	お泊まり会(年長)① 預かり保育① 園児夏休み(~8/25)
21	金	終業式(大掃除・学年別一斉指導)	終業式	お泊まり会(年長)② 預かり保育②
22	土			開園日(預かり保育)
23	日	オープンスクール①		
24	月	生徒夏休み 7/24振替休日	中学学習支援期間(~28日) 高校補習(~28日)	預かり保育③
25	火	3年生就職ガイダンス 全国高等学校総合文化祭(~30日)		預かり保育④
26	水			預かり保育⑤
27	木			預かり保育⑥
28	金	3年河合塾全統共通テスト模試(~29日)		預かり保育⑦
29	土		ミニ学校説明会・見学会	開園日(預かり保育)
30	日			
31	月			預かり保育⑧



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく